

RPPC メールマガジン 第 844 号

リサイクルポート推進協議会（令和 2 年 10 月 14 日）

■事務局からのお知らせ

令和 2 年度 リサイクルポートセミナー

日時：11 月 24 日（火） 14:00～17:00

会場：第一ホテル東京シーフォート・YouTube Live 配信併用

（専用アカウント発行）

令和 2 年度テーマ：「with コロナ・CO2 削減時代に リサイクルイノベーション」

※添付のプログラムをご確認ください。

■■セミナーの申込は下記 URL からお願い致します。

<https://forms.gle/mmEAHzQ2PwmGWh447>

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1.リサイクルP 推進協議会国際資源循環部会、鉄スクラップ輸出戦略議論

リサイクルポート推進協議会は 10 月 9 日、令和 2 年度第 1 回国際資源循環部会（部会長・田中訓朗日本鉄リサイクル工業会理事副会長）を開催した。同部会ではリサイクルポートを通じ、鉄スクラップを安定的に輸出していくための方策について研究しており、当日は我が国の鉄スクラップ輸出の現状と課題について情報を共有するとともに、遠方国への輸出に必要な複数港寄り集荷並びに、大型船就航が可能な大水深岸壁や品質向上に係わる広大な背後ヤード確保の必要性等、鉄スクラップ輸出の国際競争力強化に向けた取組みについて議論した。

今後は次回以降の部会会合において更に議論を深め、国土交通省港湾局の助言も得ながら輸出に係わる高品質な鉄スクラップのジャパンプランドとして提言していく方針。

2.広島技調、カルシア土による環境修復等技術開発

中国地方整備局広島港湾空港技術調査事務所は今年度の技術開発テーマとして、「浚渫土砂等を活用したコスト縮減潜堤の開発」、「浚渫土砂等の有効活用による環境改善」、等に取り組

んでいる。

「コスト縮減潜堤の開発」では、浅場造成のための潜堤の基礎材に活用する。従来は地盤改良が必要になり、工事期間と工費が膨大になっていた。カルシウム材を利用することで、大規模な地盤改良が不要になり経済的に潜堤を築堤することができる。

これまでに室内試験などを済ませており、予算化や関係者との調整が整えば現地で試験施工を実施し、経済的な浅場造成に向けた設計等支援していく。

「環境改善」では、土砂処分場の確保が難しくなる中で、瀬戸内海には高度経済成長に行われた「海砂採取跡地」があり、同跡地の埋め戻し材として活用する。

計画のある竹原沖の対象地区では深さ約 50mまで海砂を採取した跡地があり、同窪地を水深 30m程度まで埋め戻す計画。ただ浚渫土をそのまま投入すると、潮流によって微粒砂が浮遊し海域の濁りなどが懸念される。このためカルシウム材を用いて海域環境に配慮した埋め戻しを行う。令和元年度から学識経験者等を交えた検討会が始まっており、今後試験施工を実施して投入方法などを実証する。

3.東北地整、新たな東北港湾ビジョンの骨子（案）を提示

東北地方整備局は、9月に開催した第2回新東北港湾ビジョン検討委員会で新たな東北港湾ビジョンの骨子（案）を提示した。概要は以下の通り。

【目標1：東北経済を牽引する物流・産業拠点の形成】

戦略①：地域産業や市場ニーズに対応する海上輸送網の強化

▽コンテナ輸送ネットワークの更なる強化、

▽効率的な港湾整備を可能とするためのICT・CIMの活用、

▽フェリー・RO-RO船による持続可能な物流体系の構築。

戦略②：効率的で低コスト貨物輸送を可能とするサプライチェーンの構築

▽ICT技術等を活用した輸送網の効率化・コスト縮減、

▽国際バルクターミナル整備効果を発揮するための官民連携推進、

▽リサイクル貨物輸送の広域化に対応した港湾間連携推進。

戦略③：地域ポテンシャルを引き出す新たな資源エネルギー産業等の拠点形成

▽再生可能エネルギーの導入促進のための取組み、洋上風力発電設備設置および地域産業振興に資する拠点港湾整備、等。

【目標2：地域の賑わい創出や豊かな環境の形成】

戦略①：地域の歴史・文化と調和した魅力ある空間形成

▽地域の魅力を最大限活かした地域振興として大型クルーズ船寄港にも対応した港湾機能の確保、等

戦略②：豊かな環境の形成に向けた港湾の利活用

- ▽低炭素化や循環型社会形成のための取組みとして産業副産物のリサイクルの推進、
- ▽再生可能エネルギーの導入促進、
- ▽海域環境再生への取組みの強化、等。(以下省略)

※港湾空港タイムス 10月12日号他から編集

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がございましたらご連絡ください。開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください